



1 第 2750 地区米山学友会が創立 10 周年！

7 月 26 日、国際ロータリー第 2750 地区米山学友会の創立 10 周年記念式典が開催され、当財団からは井原實副理事長、大久保章宏常務理事、学友委



が上映されたほか、学友 3 人がクラリネットや母国の伝統楽器の演奏を披露し、会場は美しい音色に包まれました。

第三部の記念懇親会では、海外

員会委員が出席したほか、創立当初から見守ってきた当財団の三浦眞一理事も参加し、10 周年の節目をともに祝いました。

式典は三部構成で行われ、第一部の総会では活動報告とともに新旧役員の紹介があり、^{センカイ}銭海英会長（2018-21／東京南 RC）の退任と、新会長・^{マンノウセイ}万東晟さん（2021-23／小田原北 RC）の就任が発表されました。

第二部の記念式典では武藤英正ガバナーの挨拶や、国内外の米山学友からのメッセージ動画

や他地区から参加した学友の自己紹介が行われたほか、今年 12 月に台湾・^{ジャオシン}礁溪で開催される第 4 回米山学友による世界大会の PR、2028 年に第 2610 地区で開催予定の同大会 PR が行われました。

2016 年の設立総会時には学友・奨学生 24 人を含む 44 人が出席。あれから 10 年、今回の記念式典では 200 人を超える学友・奨学生、ロータリー会員が参加し、成長の足跡を感慨深く見つめるロータリー会員の姿が多く見られました。

2 2027 学年度奨学生の募集を開始

来年 4 月採用の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山記念奨学委員会が選定し、当財団選考・学務委員会と常務理事会の承認を経て決定した指定校は、全国で 608 キャンパス（前年度 610 キャンパス）となりました。指定校からの被推薦者数は 1,984 人（同 2,026 人）で、この中から新規奨学生約 630 人が選ばれます。今回、17 校（同 9 校）が初指定校となりました。また、5 地区（同 5 地区）が例会に通える範囲の地区外の 23 校（同 26 校）の大学を指定しました。さらに、大学・大学院以外を対象とする

地区奨励奨学金は、14 地区（同 15 地区）35 校（同 40 校）となっています。当財団からは 8 月 10 日、全指定校宛てに指定校通知をメールで送りました。各地区米山奨学委員会では毎年、学校説明会や学校担当者との懇談を行うなど、事業の目的に適う多様な人材を採用するため、さまざまな取り組みを行っています。指定校からの応募締切は例年通り、10 月 15 日となります。

※指定校一覧、募集要項・申込書式は、当財団ホームページにて公開しています

韓国米山学友会 総会開催のご案内

◇2026 年 11 月 7 日（土） 18:00 ～ 21:00

◇会場：ソウル南山パシフィックホテル 2 階

◇会費：90,000₩（10,000 円）

◇問い合わせ及び申込先：yoneyama@daum.net ※前日に前夜祭を開催予定

申込締切

※10月30日（金）

3 寄付金速報 — 2026-27 年度の始まりは —

前年同期比

+0.6%

普 +0.9% 特 +0.07%

2026-27 年度の最初の月となる7月末までの寄付金は、約2億507万円でした。前年同期と比べて約 0.6% 増 (普通寄付金 : 0.9%

増、特別寄付金 : 0.07%増)、約 130 万円の増加となりました。今年度は昨年度をわずかに上回る実績となり、例年並みの滑り出しとなっています。ご支援くださいました皆さまに厚く御礼申し上げます。今年度も引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

4 当財団への寄付により 4 人が紺綬褒章受章

第 2610 地区富山みらいRCの平木留里子氏 (1月24日付)、第 2770 地区久喜RCの倉持政宏氏 (4月22日付)、第 2580 地区東京王子RCの若宮正英氏 (5月23日付)、第 2710 地区徳山RCの石川良興氏 (6月27日付) が、紺綬褒章を受章されました。

紺綬褒章は、公益のために私財を寄付し、その功績が顕著な個人または団体に対して天皇陛下より授与される褒章で、当財団は2018年9月に紺綬褒章の公益団体認定を受けています。受章された皆さまに、心よりお祝い申し上げます。

5 地域社会と共に歩むネパール人奨学生と学友の挑戦

沖縄に在住の現役奨学生のサハ ラフル クマルさん (2026-27/コザRC) は、2021年に「ネパール献血者協会、日本」を設立し、在日外国人へ献血の大切さを呼びかけ、啓発イベントの開催に取り組んでいます。きっかけは、コロナ禍での献血不足を知り献血ルームを訪れた際、自身が初のネパール人ドナーであることを知ったことでした。「外国人でも献血できることが知られていない」、「言語への不安や手続きが分からない」といった課題を感じたサハさんは、献血を希望する外国人のサポートを開始しました。今後は献血の重要性をさらに伝え、日本で定期的に献血に協力する人数の増加に貢献することを目指しています。

また、教育現場で国際交流の輪を広げている米山学友もいます。母校である青森大学に就職したワイバ ゴビンダさん (2019-21/青森モーニングRC) は、多くの留学生が在籍する青森

大学東京キャンパス事務局にて、国際交流センター副センター長を務めています。自身の留学経験を活かして留学生への支援や各種企画の調整を担当するほか、都内の高等学校との交流授業を企画・実施など、地域や教育現場と連携した実践的な国際交流に取り組んでいます。

それぞれの場所で熱意を持って活動が続ける2人の、これからの更なる歩みと活躍が期待されます。



ゴビンダさん(左)とラフルさん

米山学友の顔

よねやま親善大使をお招きください

第6代よねやま親善大使が、当事業や自身の活動、ロータリーと交流し、学んだ経験が人生においてどのように生かされているか等をお話します。9~11月は地区行事のみでなく、通常のクラブ例会についても当財団の旅費負担で派遣が可能です。ぜひ、お招きください。



パブロ プーガさん



ガンバト トゥメンバールさん

詳細はこちら

